

# “とちぎ元気プラン”スタート!

# 初心

2006年盛夏号

平成18年7月発行  
年2回刊  
題字/福田富一書

〈発行所〉  
福田富一  
暮しと政治研究所  
〒321-0102  
宇都宮市江曾島町98番地  
TEL 028(645)5100  
fukuda21@agate.plala.or.jp

## 「人として生きる力」の向上を!

栃木県知事 福田富一

お陰さまで、知事就任一年半を元気に過ごすことができました。

昨年の秋の民放のテレビで、日本一影の薄い県として栃木県が取り上げられた。また、愛知博や立命館大学での知事のリーダー講座、友好交流先の中国浙江省においても、私自身が県の知名度の低さを実感してきた。

六月十五日は県民の日であった。

栃木県と宇都宮県が明治六年に合併して栃木県が誕生し、百三十三回目の誕生日を迎えたのだが、原因はさまざまあると思うが、なんといいながらも私達ひとりひとりが、県民としての誇りが乏しいことだと思ふ。栃木県の良さを改めて見つめ直して、県内外に向かって大



いに誇りあいましよう。さて、今後の行政の課題の柱は「人づくり」だと思ふ。“とちぎ元気プラン”(栃木県総合計画)を四月にスタートさせた。その中で「人間力の向上」すなわち「人として生きる力」を高めることを重点テーマに設定した。

新幹線の中で子どもが騒いでいるのを見つけたところ「乗車券も買っているし、そもそも子どもが騒ぐことは何の法律にも触れない」と強弁する親や、ラッシュの電車内で化粧する女性に注意すれば「おじさん、気軽に話しかけないですよ!」と言いつ返す人。

保育園や幼稚園では、朝から「お腹がすいた」と言い出す子どもが多いと言ふ。保育士が子どもに聞けば「朝ごはんを食べない」と言ひ、保護者に伝えると「私も食べていないのに、何故子どもに食べさせなければならぬのか?」と言ふ親、など。

### 公館の知事室にて

家族から心配されることなく育った子どもは「心配する」ということが解らないのだと言ふ。こんな不思議でこっけいな話を、県内の教育者などから耳にする。

決め手となるような施策は見当たらないが、これまで築かれ、受け継がれてきた家族力や地域力が失われつつある今日、それを補つ

て復権せしめるためには、行政が力を発揮する以外ないと考えている。

『毎月第三日曜日の家庭の日』の取り組みや、親の、子どもとの接し方などを学ぶ『親学習プログラム』、ボランティア活動の強化による『地域によるまちづくり』など、県庁への期待に全力で応えていきたい。

一方、栃木の新たな胎動もある。WBCで活躍した、都賀町出身の渡辺俊介投手と、史上三十四人目の二本安打達成の佐野市出身の石井琢朗選手への県民栄誉賞の授与。栃木SCの平成二十年四月を目指したJ2入りやプロバスケットボールリーグへの本県チームの参加の動きなどが活発化している。

▽県民所得は、約三百五十万円で全国七位▽農業生産額は全国十位▽昨年の工場の立地件数は全国十位▽過去十三年間の経済成長力は、関東では同点八位の千葉・茨城に次いで本県は十位にランク▽第二次産業の占める割合の高さでは、滋賀・静岡に次いで三位の、物づくり県でもある。

日本一の『イチゴ』生産量はすでに有名となり、農産物も海外輸出を含め健闘している。

『隣に蔵が建つと腹が立つ』とは、県民性を表した言葉だが、悪いことは改め、良いところは“オールとちぎ”で応援し、さらに伸ばす。こんな栃木に皆で致しましょう!

### ちよつと一息



原監督にイチゴを贈る知事

### 県産イチゴ贈り歓迎 巨人―広島オープン戦

読売巨人軍と広島東洋カープの選手や監督らが3月24日、翌日の清原球場でのオープン戦に備えて来県。知事は両軍の宿舎を訪れ、巨人の原辰徳監督、広島のマーティン・ブラウン監督に、本県名産の「とちおとめ」を贈り、歓迎した。

現役時代を含めて来県は初めてというブラウン監督に「本県はイチゴの生産量日本一・とちおとめにあやかっつて優勝してください」と知事。これぞまさに「イチゴ(一期)一会」。

この日の贈り物は、知事のポケットマネーによるものだった。



ブラウン監督にイチゴを贈る知事

# するとちぎへ

知事は5月10日の市町村長会議で、10年度までに県内市町に九百七十二項目の権限を移譲する方針を明らかにした。特定非営利活動法人(NPO法人)の設立認証や、許可外保育施設に関する事務などが柱で、来年度から4年間で段階的に移譲する。県は既に約千二百件の権限を市町村に移譲しており、今回の移譲で二千件以上の権限が県から市や町に移ることになる。

市や町への権限委譲は知事の公約の一つ。県はこれまで、県の事務約六千件について県が引き続き担当するか、市町村に移譲するべきかを市町長

## 県の権限972項目順次移譲

### 市町村長会議で基本方針を了承



設立総会で挨拶する知事

代表者とともに、政策懇談会の下部委員会である権限委譲委員会が検討してきた。移譲の基準としては「地域の利便性向上が図られる」「迅速・的確な対応が可能になる」「市町の自主性・自立性が図られる」「市町村合併により事務処理が可能となる」「一体的な行政運営が図られる」の5項目があげられ、その結果約千件の事務が市町への権限移譲の対象項目となった。また、地域住民に周知徹底を図るための広報費などの一部を交付する財源措置として、特別交付税の創設も検討している。

子どもを狙った犯罪が相次ぐ中、治安回復へ向け協力を深めようと3月25日、行政や企業、教育関係など約50団体による「県安全で安心なまちづくり県民会議」が発足した。参加団体は連携し

「県安全で安心なまちづくり県民会議」を結成

子どもを狙った犯罪が相次ぐ中、治安回復へ向け協力を深めようと3月25日、行政や企業、教育関係など約50団体による「県安全で安心なまちづくり県民会議」が発足した。参加団体は連携し

「犯罪被害者支援へ窓口

知事は4月25日の定例記者会見で、生活環境部内に犯罪被害者支援のための担当窓口を設置することを明らかにした。

会見で知事は「これまでは交通事故被害者の観点から支援の担当課として交通対策課が入って



JR・新宿相互乗り入れを記念して行われたくす玉割り

## 新宿一日光・鬼怒川特急

### JR・東武直通開始

JR新宿駅と東武日光・鬼怒川温泉両駅とを結ぶJR東日本と東武鉄道の直通特急列車が3月18日から運転を開始した。所要時間は約2時間で1日4往復。東京西部・神奈川エリアからのアクセスの向上で、観光客の拡大が期待される。「うれしくてたまらない、至福の気持ちを栃木弁で『こでらんねえ』と言います」。知事のJR新宿駅での出発式の挨拶だ。また、参列者からは「わが国有数の国際観光地・日光がますます発展することを期待している」との声もしきりだった。東武日光駅、鬼怒川温泉駅も歓迎行事をくり広げ、6月末現在で1日平均千四百人増、月四万人増の集客数となった。

### 観光立県へ推進本部

県内観光の施策を総合的かつ効果的に推進するため、県は4月11日、知事を本部長として県庁の全部局で構成する「観光立県とちぎ推進本部」を設置し、第1回本部会議を開催。初年度は、観光地のトイレ「ピカピカとちぎ整備事業」や外国人向け標識整備などを行う「観光基盤整備事業」と、映像製作者に撮影支援を行う「県フィルムコミッション」に優先的に取り組むことを決めた。

### 県フィルムコミッション協力第1号映画決定

県内で全編ロケーション撮影する映画「檸檬(レモン)」のころの製作発表が6月26日、県公館で行われた。同作品は地方の高校を舞台とした青春ドラマ。岩田ユキ監督は「たくさんすてきな場所を見てイメージが膨らんできた。大切なものが映る映画にしたい」と抱負を語った。ロケ地を県東部と決め、9月に撮影開始、12月末完成の予定。

## 『県民荣誉賞』授与へ

### 渡辺俊介投手

千葉ロッテマリーンズの野球の第1回ワールド・ベースボール・クラシックで日本チームの優勝に貢献した都賀町出身の渡辺俊介投手に5月24日、知事から「県民に夢と希望を与えてくれた」と、県民荣誉賞が贈られた。渡辺投手は「大変な荣誉。この賞にふさわしい選手となれるようさらに努力していきたい」と誓った。県民荣誉賞を贈られた渡辺投手



通算二千本安打を達成した佐野市出身の石井琢朗選手に6月28日、知事から「県民に活力を与え、元氣なとちぎづくりを推進する大きな力になる」と、県民荣誉賞が贈られた。石井選手は「名誉ある賞を頂いた。これからもこの賞を励みに、県民の皆さんに夢を与えていきたい」と語った。県民荣誉賞を贈られた石井選手



## 犯罪被害者支援へ窓口

知事は4月25日の定例記者会見で、生活環境部内に犯罪被害者支援のための担当窓口を設置することを明らかにした。会見で知事は「これまで交通事故被害者の観点から支援の担当課として交通対策課が入って

「犯罪被害者には生活面のケアも当然必要だ。生活環境部の文化振興課が担当窓口となるのがふさわしい」とし「庁内各部署がかかわる被害者支援策を総合調整し、被害者のニーズに応じていく必要がある」と説明。

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞の記事を抜粋させていただきました。

# 地域が自立

## 「自治基本条例」で報告書

### 「3分の1条項」重要視

県は6月9日「とちぎ自治基本条例(仮称)」の制定に向け、たたき台をまとめた。自治基本条例は一般的に、自治体としての基本理念、住民の権利と責任などを定めるため、「自治体の憲法」とも呼ばれる。

たたき台には具体的な事例として、県民の県政参加を促す仕組みの一つに「県税の使途の一部を納税者に選択してもらう制度」や、市町支援の取り組みとして「3分の1以上の市町が共通して取り組む

施策を県が自動的に支援する制度(3分の1条項)などを重要項目として挙げている。知事が公約に掲げた自治基本条例は、地方自治の理念とともに、住民自治を推進するために「市町への権限移譲」各種規制の定期的見直し」など

具体的な仕組みに重点を置いた「住民自治型」を目指しており、都道府県レベルでは全国初となる。

県は秋をめどに有識者らで作る懇談会を設置し、検討すべき課題や問題点を議論する。

県は秋をめどに有識者らで作る懇談会を設置し、検討すべき課題や問題点を議論する。

## 小子化・晩婚化対策

### 県が『出会いの場』支援

知事は6月10日までに少子化対策の一環として結婚につながる男女の『出会いの場』などを県が提供するため、来年度予算に事業費を盛り込むよう検討していると述べた。

知事は、地域で結婚の世話をする機能がなくなってきた

### 乳幼児医療費公費負担を

5月24日の関東知事会議で知事は「少子化対策が国民的課題とされる中、乳幼児期に安心して医療サービスを受けられる環境を整備することは重要」とした上で、窓口で立て替え払いのない「現物給付方式による乳幼児医療費公費負担制度の創設を要望した。

## 県内に利益還元が条件

### 足利銀行受け皿問題

知事は5月30日の記者会見で、3月期決算が計画を上回る好決算となったことを受け「今後、金融

県に還元されるというのが理想だ」と語った。

その一方で「営利優先、市場主義にいきやすい外資はノー。メガバンクのブランチ(支店)になるのも願わず」などと述べ、万が一県民の意向が反映されないような受け皿が選定された場合には、強く反対していく姿勢を明確にした。



参加者と意見交換する知事

## 東奔西走の日々

◇2月23日 北関東道の早期開通を/国土交通省などを訪れ、「実現に向けた配慮を」と要望。

◇2月27日 スポーツ功労者表彰/「スポーツの振興、競技力の向上で意義深い」と挨拶。

◇3月8日 浙江省視察団と知事室で懇談。

◇3月23日 ラジオで『インディ』をPR。

◇4月3日 県庁で、異動対象となった部長級職員との辞令交付式/『とちぎ元氣プラン』や行財政改革大綱スタートの年。知事、幹部職員の奮起を促す。

◇4月24日 東京/国際ソロプチミスト東京大会出席。

◇5月9日 矢板家畜市場を視察/「生産者には一頭でも多く良い牛を生産し、購買者には一円

でも高く購入して」と挨拶。

◇5月13日 那須塩原で第44回ラジオで『インディ』をPRする知事

務がある」と挨拶。

◇5月24日 地方交付税の削減見直しを/総務省・財務省などに緊急声明を提出。

◇5月24日 北関東3県知事座談会/北関東道2012年全線開通で経済や観光面の波及効果に期待。

◇5月28日 第1回「とちぎの環境美化県民運動」実施/関係者らとごみの収集活動行方。

◇6月17日 とちぎ元氣フォーラム in 市貝町

◇6月21日 とちぎ特使との懇談会/「栃木」の認知度向上にお力添えを」と挨拶。



県植樹祭/「本県の緑をより豊かにし、次世代に引き継ぐ責

◇6月29日 とちぎ元氣フォーラム in 白鷺大学

◇7月8日 全国高校野球栃木県大会・始球式/「悔いが残らぬよう頑張っしてほしい」と力強くエールを送った。

知事が県の政策や課題について、直接住民と意見を交わす「とちぎ元氣フォーラム」が5月28日、今年度初めて藤岡町文化会館で開かれ、百二十一人が参加した。

会場のアンケートで、参加者の関心が高かった①合併問題②高齢・医療・福祉問題③安全・安心な地域社会、の順に知事が答えた。

最も質問が多かった市町合併問題に知事は「住民が十分考え、町執行部や議員と意見交換を行っ

てほしい」と訴えた。

知事も「LRTはこれまで赤字など採算性がかり

で赤字など採算性がかり

## 講演や討論で必要性訴え

### LRT導入問題

LRT導入を求める市民団体主導の「LRT早期実現」総決起大会が6月10日、宇都宮市文化会館に約2千人が参加して開かれ「雷都ルールとちぎ代表」の奥備実行委員長が「車だけに頼らない、公共交通と共存できる21世紀のまちづくりの中核はLRTと確信、心を一路が整備された実力のあ

る街。日本のモデル都市になって欲しい。」と訴えた。

知事も「LRTはこれまで赤字など採算性がかり

で赤字など採算性がかり

### とちぎ元氣フォーラム

#### 藤岡町で開催

知事が県の政策や課題について、直接住民と意見を交わす「とちぎ元氣フォーラム」が5月28日、今年度初めて藤岡町文化会館で開かれ、百二十一人が参加した。

会場のアンケートで、参加者の関心が高かった①合併問題②高齢・医療・福祉問題③安全・安心な地域社会、の順に知事が答えた。

最も質問が多かった市町合併問題に知事は「住民が十分考え、町執行部や議員と意見交換を行っ

### 忙中閑あり

#### 足利・名草のホタル鑑賞

6月10日、ホタル祭りの初日に知事は喜江子夫人を伴って会場を訪れ、飛び交う神秘の光に時を忘れ会場の人達とも気さくに会話を楽しんだ。名草は、婚約時代に訪れた夫妻にとって思い出深い土地である。



乾杯の挨拶をする築会頭と知事夫妻



売店で観葉植物を見る知事夫妻

### 就任2年目の新年を迎えて 賀詞交歓会

後援会主催の賀詞交歓会を、2月13日午後6時よりホテル東日本・大和の間で千余名のご参加を得て開催。森山まゆみ自民党県連会長はじめ国会議員、県会議員、市町村長の代表の方からご挨拶をいただいた後、築郁夫県商工会議所会頭の首頭で乾杯。和やかに、かつ有意義に、新春顔合わせにふさわしい交歓がくり広げられた。知事就任2年目となる年の幕開けであった。

### 華やかに二百人参加して ゆりの会新年会

恒例となったゆりの会新年会が、2月26日午前11時からホテル東日本・日光の間で開催された。和服での参加者も多く、女性ならではの華やきが新春の寿ぎを一層盛り上げた。会員有志による祝いの詩吟と舞の披露があり、それぞれに知事から花束が贈られた。しめくくりは、全員で『とみかずサンバ』を斉唱、友好の深まりを確認するその日の集いとなった。知事は午後から公務のため途中退席したが、参加者の皆さんと時間いっぱい歓談した。



詩吟を披露して下さった皆さんと知事

### さみだれに傘をさしての 吹割の滝ハイキング

毎年恒例のハイキングは6月18日、群馬県沼田市の『吹割の滝』へ。21回目にして初めての場所です。手軽な観光地でもあり、バス5台、百八十名参加のハイキングとなった。片品川の雄大な流れの川底が浸蝕されて滝となった景観は圧巻で『東洋のナイアガラ』と呼ぶよしだ。あいにくのさみだれに傘をかざしての散策ながら、大木の緑は濃さを深め、水しぶきを浴びながらの清遊であった。帰路、金精峠の頂上に出



ハイキングで1号車の皆さんと

ると快晴、萌え出たばかりの新緑は標高千三百メートルの証しでもあり、いろは坂にさしかかるとまたしても重い雲から雨がしたり、『奥日光につゆがない』ことを実感した。

### 一族のきずなを深め

#### 一・市会(親戚会)

知事(富一)と父(佐市)の一字づつから命名した第2回一・市会(親戚会)が、6月25日午前11時からアピアを会場に開かれた。福田・高山両家の親戚百五十名が参加し、旧交を温める場面もあり、一族の絆を一層深める和やかな集い



一・市会の会長と両親を囲んで

であった。

### 『福田家の茶の間』

夫からメールが入る。「只今帰路へ。ウォーキング行って、食事を！」それを見て私は食事の準備をする。帰宅してから、二人で40分ほど、その日の出来事などをあれこれ話しをしなが、早足で歩いてくる。夫は健康のために。私はストレス解消のためである。



「朝の来ない夜はない」と、あしたという希望を捨ててはならないことを知事は力説。だが日々、朝は何と早く訪れることか。

夫は新聞や雑誌を読んで、興味があった記事などを切り取って、(私にも読むようにと)黙ってテーブルの上において置く。それは、夫が書いた文章であったり、暮らしの知恵であったり、

「朝の来ない夜はない」と、あしたという希望を捨ててはならないことを知事は力説。だが日々、朝は何と早く訪れることか。日照時間不足が続き、現状ではおコメ作柄2割減だと知事は懸念。国内外に不穏な出来事多発の昨今、地球規模で爽やかな朝の始まりを迎えられるようにと、祈るや切なるものあり。おコメも然り。みず穂の国のゆたかな風景を待ち望まずにはいられません。皆さま、どうぞお元気で暑い夏をお過ごしください。

### 文化講演会のお知らせ

講師 吉行和子先生(女優)  
聞き手 関容子さん(エッセイスト)  
演題 『楽しい生き方』  
日時 10月3日(火) 午後6時30分 開会  
場所 宇都宮グランドホテル  
入場料 1,000円

※チケットご希望の方は事務所までご連絡下さい



講師の吉行和子先生

### 編集後記

「朝の来ない夜はない」

「朝の来ない夜はない」と、あしたという希望を捨ててはならないことを知事は力説。だが日々、朝は何と早く訪れることか。日照時間不足が続き、現状ではおコメ作柄2割減だと知事は懸念。国内外に不穏な出来事多発の昨今、地球規模で爽やかな朝の始まりを迎えられるようにと、祈るや切なるものあり。おコメも然り。みず穂の国のゆたかな風景を待ち望まずにはいられません。皆さま、どうぞお元気で暑い夏をお過ごしください。

### 福田富一後援会事務所

宇都宮市江曾島町98番地  
電話 028(645)5100  
FAX 028(645)1124

### 今後のスケジュール

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 講演会           | 吉行和子先生(女優)       |
| 日時            | 10月3日(火)午後6時30分  |
| 場所            | 宇都宮グランドホテル       |
| 日時            | 11月28日(火)午後6時30分 |
| 場所            | アピア              |
| もちつき大会        | 12月3日(日)午前11時    |
| 場所            | 今宮公園             |
| ゆりの会新年会(女性のみ) | 2月18日(日)午前11時    |
| 場所            | ホテル東日本           |
- ※詳細につきましては、後援会事務所にお問合せ下さい。